

みかい

安住院便り
(第18号)

平成19年1月1日発行

〒703-8236

岡山市国富3丁目1-29

住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

安住院・多宝塔

多宝塔を含め、仏塔は仏様を象徴的に表した物で、お墓に立つ供養塔などの五輪塔と同じ意味を持ちます。五輪塔は四角・円・三角・半円・宝形の五種類で成り立っていますが、多宝塔も同じ構成なのです。よく二重塔と呼ばれる方がおられますが、多宝塔は決して二階建ての塔ではなく、単層の建物です。その証拠に二階と想われている箇所の中には部屋は無く、屋根の木組みが入り組んでいます。下層の屋根は実は庇（ひさし）で、五輪塔が日本に入ってから木造建築となった時に、雨の多い氣候に合わせて軒下を広くしたので、漆喰で固められた亀腹と呼ばれる丸い部分が円、上側の屋根が三角、突き出した相輪の下部分を半円と考え、先端に宝形の宝珠があります。

また多宝塔と言う名の由来は、法華経が説かれた場所に、塔と一緒に涌出する多宝仏という名の仏様に依るとされ、本来、釈迦・多宝二仏を祀ったものです。観音経にもその名は説かれています。それが、密教即ち真言宗による五輪塔の解釈により、大日如来を祀るようになったものが多くなり、高野山の根本大塔が代表されるものです。

現在の安住院の多宝塔です。現在は高いビルが建ち並び、後樂園からは見え難い多宝塔ですが、建立当時には、後樂園から見る瓶井山の中腹の多宝塔、更に備前富士と呼ばれる芥子山までを遠景とした、素晴らしい四季折々の粧いを堪能出来たことでしょう。是非、その頃に想いを巡らせて、多宝塔を見ていただければと観じております。



岡山県には文化財に指定されている塔は多く、多宝塔も四基あります。その中で大きくても古きでも二番目なのが、瓶井山・安住院の多宝塔です。一度、県内の塔を調べてみるのも面白いかも知れません。

瓶井の地には創建当時より伽藍が整備されていましたが、塔もあったことと思われるのですが室町期の火災により焼失してから建立されることもなく、江戸時代池田家の世になり藩主綱政候に再建を願い出て、次の藩主継政候の時、後樂園築庭に合わせて、寛延四年（一七五一）に今の場所に、今の姿で建立された。

安住院ホームページ <http://www.anjuin.com/>

初観音法要のご案内

来る一月十七日（水曜）
午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈禱並びに護摩供を厳修致します。

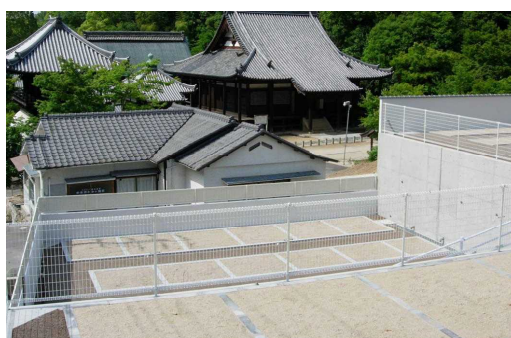
念頭にお配りする「とし書き」にご記入の上、ご参詣下さい。また、特別祈禱も申し受けますので、前日までにご連絡下さい。

みかい霊園「法寿」完成

平成十五年完成のみかい霊園「法明」「蓮華」に続き、「法寿」地区が新たに完成いたしました。好評により前回の二地区は空きが少なくなりましたので、本堂に近い境内地を整備して霊園として分譲するに至りました。

お越し頂ければ解りますが、駐車場も整備し、様々な方が気軽に参り出来るように考慮しています。

瓶井の谷の景観に相應しい霊園であり、お墓参りだけでなく、様々な歴史に触れることの出来る場所にと考えております。是非、皆様のご協力の程、宜しくお願い致します。



瀬戸内観音霊場開創記念法要

本年五月四日（金）に毎年恒例の瀬戸内観音霊場の開創記念法要が行われます。今年の会所は、因島市（第番二十七札所）の観音寺です。

中国観音霊場参拝①

昨年十月四日、五日、檀信徒の皆様と、中国五県に及ぶ観音霊場参拝を始めました。先ず広島県を中心に番外も含め八ヶ寺を回り周防大島に泊まる二日の行程でした。

安芸宮島へも渡り厳島神社弁財天なども散策しました。尾道では雨の中ではありませんでしたが、徒歩にて千光寺等の古刹をめぐり、紅葉シーズンには早いので、ゆつくりと落ち着いたお参りが出来ました。

近県のお参りですがバスでの道中が長く、道の整備されていない所も多く、なかなか全てを回ることの少ない霊場です。この期に是非皆様さんとの成満を願いながらの第一回目となりました。

どこの寺院においても、やはり観音様の信仰は大きいものがあると感じ、千年以上の歴史の中で更に深く刻み込まれたものであり、大切にしたい文化です。

次の予定は、四月十九日（木）

・二十日（金）ですので、宜しくお願い致します。

